

まじの 空を見あげて

vol.21

2月14日の「聖バレンタインデー」はカップルの愛の誓いの日。日本では1960年頃女性から男性へチョコレートを贈る習慣が始まった。さらに返礼の贈り物をする習慣が日本から東アジアに広まり、3月14日がホワイトデーと呼ばれ始めた。当初、義理チョコを貰えばなしにしていた紳士たちは、驚いてデパートに走ったらしい。

さて、人間の脳細胞には、ミラーニューロン(鏡のように反応する神経)という細胞があるといわれる。赤ちゃんがあやす人の笑顔をまねて微笑みを返すように、相手の態度を真似ようとする人間のあり方の基本とも言われる。でも、新生児は目も見えていないのに虫笑いをする。最初に愛を込めた挨拶を贈ってくるのは赤ちゃんの方からかもしれない。母性愛とは、赤ちゃんから贈られてきた愛へのお返しとして目覚めるものなのか。「贈与」の起源はあまりにも深いものと思えます。

「欲するなら、まず与えよ」という黄金律があり、私達の暮らしも「与え・与えられる」事で成立しているのではないでしょうか。

町長 田中一典

モー突進レポート

翔 SHOW TIME たいむ

vol.10



企画振興課の田村翔惟です。今回は、2月16日(日)にカーリングホール駐車場で開催された「スノフェス in モセウシ」に町の有志として参加させていただきました。

今年で第4回を迎えるこの「スノフェス」は、農協青年部、商工会青年部と町の有志の若者達が協力して、幅広い年齢の人々の交流を中心とした冬の演出を行い、妹背牛町をもっと盛り上げようと開催したイベントです。



雪のブロックを積み重ねてイグルーを作っていきます。

前日は僕たち町の有志で、子どもたちに楽しんでもらおうとイグルーづくり。この日は晴天で午前中からお昼まで日差しが強くと、雪が湿っていて作業がはかどりました。さらに夕方から冷え込んだことで丈夫なイグルーが完成。

当日の午前中は、3団体からそれぞれ各係に分かれて準備開始。炭系の僕は、炭火をおこす準備をした後に、会場の設置作業を手伝いました。午後は、ステージでダンスのリハーサルを行いました。ダンスに集中するあまり硬い表情に…本番は子どもたちも一緒に踊るので、「もう少し柔らかい表情を意識しないとイケないな」と反省しました。



ダンスの振りに必死で表情が硬いです…。

第4回 スノフェス in モセウシ

2/16 妹背牛町カーリングホール駐車場

そして2時半からイベントがスタート。子供たちは巨大滑り台やスノーモービル、宝探しに大喜び。僕たちの作ったイグルーも楽しんでくれたみたいで満足です。その間、僕はおこした炭火をお客さんのもとへ配りました。5時になると、ステージイベントが開始。アイス早食い対決が終わり、いよいよダンス本番。子どもたちがステージに上がってき

て、一緒にパブリカダンスー本番は軟らかい表情を意識しようとしましたが、子どもたちの楽しんで踊っている姿に自然と笑顔になっていました。ダンスの後は、歌手の入山アキ子さんによる歌謡ショーや抽選会が行われ、フィナーレには冬の澄んだ夜空に花火が打ち上がりとてもきれいでした。



本番では一番楽しく踊ることができました。

極寒の中、運営は大変でしたが、農協青年部と商工会青年部の方々と交流も深まり、お客さんにも喜んでもらえて大成功。今後も妹背牛町の冬を盛り上げるイベントに携わっていけたらと思います。